

火はみてる あなたが離れる その時を

平成19年度全国統一防火標語

平成19年度入間東部地区消防組合予算概要

平成19年3月19日入間東部地区消防組合定例議会が開催され、平成19年度予算が決まりました。

厳しい財政状況での予算編成になりましたが、皆様からお預かりした大切な税金を設備や資機材の整備などに使わせていただきます。

今年度の主な事業としましては、隊員が災害活動に使用する空気ボンベに空気を充填する設備の整備、老朽化に伴う上福岡消防署の消防車両の購入、同じく老朽化に伴う富士見消防署の救急車、みずほ台分署の消防車両の購入、三芳分署のはしご車のオーバホール、上福岡第1分団車庫の建設、災害用バスの購入などです。



収入 2,831,225千円

| | | |
|-------------|--------|----------|
| 2,707,782千円 | 95.64% | 分担金及び負担金 |
| 102,500千円 | 3.62% | 組合債 |
| 11,400千円 | 0.40% | 繰越金 |
| 4,635千円 | 0.16% | その他、諸収入 |
| 3,000千円 | 0.11% | 寄付金 |
| 1,908千円 | 0.07% | 使用料及び手数料 |

● 負担金内訳 ●

| | |
|-------|-------------|
| 三芳町 | 493,604千円 |
| 富士見市 | 1,011,019千円 |
| ふじみ野市 | 1,203,159千円 |

*入間東部地区消防組合は、三芳町・富士見市・ふじみ野市により、共同で運用されています。

支出 2,831,225千円

| | | |
|-------------|--------|------|
| 2,733,936千円 | 96.56% | 消防費 |
| 86,122千円 | 3.04% | 公債債 |
| 3,001千円 | 0.11% | 諸支出金 |
| 4,822千円 | 0.17% | 議会費 |
| 344千円 | 0.01% | 総務費 |
| 3,000千円 | 0.11% | 予備費 |

● 消防費内訳 ●

| | |
|-------------|-------------|
| 常備消防費 | 2,619,891千円 |
| 非常備消防費 | 114,045千円 |
| ・三芳消防団費 | 19,464千円 |
| ・三芳町消防施設費 | 3,122千円 |
| ・富士見消防団費 | 23,760千円 |
| ・富士見市消防施設費 | 6,859千円 |
| ・ふじみ野消防団費 | 31,869千円 |
| ・ふじみ野市消防施設費 | 28,971千円 |

Q 救急車は、救急現場に着後、すぐに病院に連れて行くことができるのか。

A 「119番通報から早く病院に連れて行って」「かかりつけ病院の先生とは昔からの付き合いで、何かあったらすぐ連れて来なさい」と言われていて...

救急隊員は病院に搬送する際に、応急処置後、収容可能なかを病院に必ず電話で確認させていただいています。これは、医療機関では患者の状態の急変やベッドの空状況など、常に状況が変化しており、どこでも救急患者を受け入れられるとは限りません。又、かかりつけの病院であっても、担当医や検査技師が不在だったり、ベッドが満床の場合、収容を断られる場合があります。

救急隊員も、一刻も早く病院へ搬送し、傷病者の苦痛を軽減させたい気持で一杯ですが、病院への収容が確実なままでの搬送はできません。皆様のご理解と協力をお願いいたします。



入間東部地区消防組合消防本部 三芳町・富士見市・ふじみ野市
 〒356-0052 ふじみ野市苗間1-13-28 / TEL 049 (261) 6000代 / FAX 049 (261) 4395
 ホームページ <http://www.irumatohbu119.jp> / eメール shobo@irumatohbu119.jp
 火災の問い合わせ 049 (263) 0119 (テープ案内) / 救急病院の御案内 049 (261) 6000 (休日・夜間)

みんなの消防-82号- 住み慣れた 街の安心 防火から -入間東部地区消防組合防火標語-

消防長就任挨拶



消防長 戸口 守

4月から、消防長に就任いたしました。職責の重要性を深く認識し、消防行政発展のために専心誠意努力する所存であります。

管轄である三芳町・富士見市・ふじみ野市は、宅地開発による人口増加、大型商業施設などの開業により、今後ますます発展していく地域です。しかし、都市化の進展に伴い、災害の形態は複雑・多様化し、救急出場件数が増加するなど、様々な問題も発生します。

最近では、災害現場の凄惨な状況をマスメディアなどを介して多くの方が知る事ができるため、住民の皆様の中にも、災害に対する不安を感じている方も多いかと思えます。私はこうした不安を最小限に抑えるため、厳しい財政状況ではありますが、職員の英知を結集し、消防防災体制の整備・強化を進め、地域の一番身近な防災の担い手として、住民の皆様には「安心・安全」を提供するともに、より一層信頼される消防機関となるよう職員一丸となって努力します。皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

救急事後事例研究会実施

5月15日消防本部で、埼玉医科大学救命救急センターの医師を招き、救急事後事例研究会を実施。

毎月一回「シミュレーション」や検証を行い、日々高度化が求められる救急に対応するため、救急隊員のほか、消防・救助隊員、一九番受信係員が参加しています。



園児見学会を実施しました

5月14・15日の2日間、富士見市にある消防組合・消防訓練場、三芳町・富士見市・ふじみ野市の幼稚園と保育園(所)の児童約2000人を対象に、「毎年恒例の「消防園児見学会」を開催。幼年期からの防災教育で、火遊びや、花火などによる火災を防ぐことを目的とし、今年で30回目を迎えました。隊員による訓練の見学や、大集合し、消防車と一緒に記念撮影をし、術の正確さ、迅速さが競われま



子供だけの花火の危険性を訴える寸劇「あぶない花火」



はしご車による救出訓練や、放水訓練を見学しました。

埼玉県救助技術指導会が実施されました

5月22日に消防組合訓練場で、近隣10消防本部の参加により「埼玉県第2ブロック消防救助技術指導会」が実施され、技術の正確さ、迅速さが競われま



350人以上の隊員が救助技術の訓練成果を競いました



暑さにもかかわらず、多くの声援をいただきました。

した。住民の皆様からの協力と、多数の声援をいただき、日ごろの訓練成果を発揮する事ができました。

引き続き6月16日に同会場で埼玉県大会、8月には東京で全国大会が実施されます。隊員一丸となり、人命救助技術向上のため訓練を重ねています。

花火を楽しむために

花火を安全に楽しむため、子供だけではならず、大人の監視のもとやるようお願いいたします。消火用の水バケツを用意し、正しい使用方法、使用期限を守って、やけどなどのケガに十分注意してください。

セルフスタンドでの安全な給油

7月1日は「国民安全の日」です。セルフ給油スタンドでガソリンの継ぎ足し給油により車の給油口からガソリンが溢れる事故が多発しています。ガソリンが引火し、重大な災害につながる恐れがあります。給油の際は、十分注意してください。

台風に対する備え

台風シーズンの8月・9月は、各地で大きな被害が発生しています。建物の補強や、避難場所の確認など、各家庭で台風への備えをしましょう。

防災行政無線などによる予報・警報にも耳を傾けるようお願いいたします。